



“葉っぱビジネス”で有名な徳島県上勝町
株式会社いろどり 代表取締役社長
横石 知二 氏



夢の種を蒔く、 地域再生の哲学

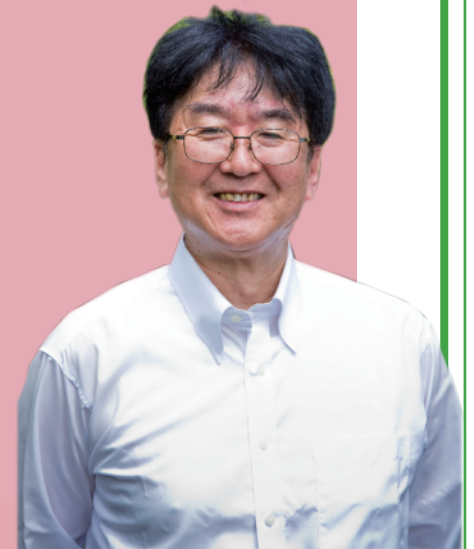
— 一人を突き動かすのは何か —

地域の再生人であり経営者でもある横石氏と木村氏。地域の人々からの期待や反発、逆境の数々を乗り越え、それでも地域にこだわって地域を再生へと導いた彼らを突き動かしたものは何だったのか。「なぜそこまでできるの？」という問いかけに、彼らは「よくはわからないけれど」と前置きしながらも「必要とされることに喜びを感じる」「お金はないけど夢はある」と答える。

本シンポジウムでは、彼らが地域で何を感じ、考え、行動したかを多面的な視点で捉え直し、「地域再生人」と呼ばれる人間の本质に何があるかを考える。同時に彼らの活力ともなっている“地域で＜夢の種を蒔く＞とはどういうことか、そのことによって地域に何が起るのか”にも迫る。

伊賀の里モクモク手づくりファーム 創業者
(現・株式会社モクモク流地域産業製作所 代表取締役社長)

木村 修 氏



日時：2018年 **1月27日(土)**
(受付開始：13:30) **14:00 - 17:00**

会場：愛知大学豊橋キャンパス記念会館 3階小講堂
豊橋鉄道渥美線「愛知大学前駅」下車すぐ(公共機関でお越し下さい)

【定員】 **200名**(入場無料・要申込 ※一部当日参加可)

【申込方法】 必要事項をご記入の上、メール・FAX・郵送のいずれかにて愛知大学人文社会学研究所宛てにお送りください。

＜申込期限：1月22日(月)＞ 詳細は裏面をご確認ください。

※会場席数に余裕ある場合には、当日参加申込も受付ます。

当日席分は先着順となりますのでご了承ください。

【パネルディスカッション】(3時間)

「夢の種を蒔く、地域再生の哲学
— 一人を突き動かすのは何か —」

＜登壇者＞

横石 知二 氏 (株式会社いろどり 代表取締役社長)

木村 修 氏 (株式会社モクモク流地域産業製作所
代表取締役社長)

岩崎 正弥 氏 (愛知大学地域政策学部 学部長)

＜コーディネーター＞

近藤 暁夫 (愛知大学人文社会学研究所)

内浦 有美 氏 (株式会社うちうら・ぼったり堂 代表)

主催：愛知大学人文社会学研究所 後援：豊橋市

「夢の種を蒔く、地域再生の哲学」

「人を突き動かすのは何か」

愛知大学人文社会学研究所は、文学・史学・哲学の基礎研究を中心とする人文社会学の研究機関です。人間の、そして社会の、より根源的かつ普遍的な問題に取り組み、「新しい知の在り処」を探求し、その成果を発信しています。

村氏の両氏が、地域で何を感じ、考え、行動したかを多面的な視点で捉え直し、人間としての本質に何かがあるかを考えます。同時に、「地域で夢の種を蒔く」とはどういうことか、そのことよって地域に何が起るのかにも迫ることで、『地域再生に必要な活力の源』も明らかにしていきたいと考えています。



横石 知二 (よこいし・ともじ)

株式会社いろどり・代表取締役社長。1958年、徳島市生まれ。79年に徳島県農業大学校を卒業後、同年に上勝町農業協同組合へ営農指導員として入社。86年に「つまもの商品の彩を開発・販売し、91年特産品開発室長に就任。山の資源を生かした商品開発で全国的な注目を浴びる。96年4月上勝町役場産業課に転籍、99年に「株式会社いろどり」を設立し、責任者として「彩」をはじめ特産品の企画販売を行う。同時に高齢者が使える情報ネットワークシステムを開発。2002年に役場を退職、株式会社いろどり取締役に就任、05年代表取締役副社長、09年代表取締役社長に就任。「カンブリア宮殿」「ガイアの夜明け」等国内・海外の数々のメディアが取材、特集。07年、ニエースウィーク日本版「世界を変える社会起業家100人」に選出。12年映画「人生いろどり」が全国上映。



木村 修 (きむら・おさむ)

伊賀の里モクモク手づくりファーム・創業者。現、株式会社モクモク流地域産業製作所・代表取締役。1987年、三重県伊賀市山麓に自然・農業・食農学習をテーマにした農業公園「伊賀の里モクモク手づくりファーム」を作り上げる。たった一人の船出だった。「脱・既成農業の名の元ユニークな手法と情熱で、二五年間で従業員350名、年間五〇億円に到達、農業界で「モクモク」の名を知らないものはない、という規模まで育てた。人口8,700人の旧阿山町(現・伊賀市)に、年間五〇万人の観光客が訪れる。2003年、農業の六次産業化の実践と雇用の場の創出、地域の農業者とのネットワーク化を図ったとして、「地域おこしに燃える人」を受賞。14年株式会社モクモク流地域産業製作所を設立、代表取締役社長に就任。



岩崎 正弥 (いわさき・まさや)

愛知大学地域政策学部教授、学部長。1961年、静岡県生まれ。95年京都大学大学院修了(農学博士)。96年4月愛知大学経済学部専任講師、以後、助教、教授を経て、2011年4月地域政策学部教授、17年4月より学部長、現在に至る。専門は農業思想、農村社会史、農山村復興。著書として『農本思想の社会史』『食の共同体』共著、『場の教育』共著等がある。この数年は奥三河、南信州の過疎地域づくりに関して、学生と一緒に調査研究、活動支援に関わり、移住者(外部人材)の地域振興に果たす意味に価値観、新しいライフスタイルや価値観、新たなコミュニティのあり方について考えている。

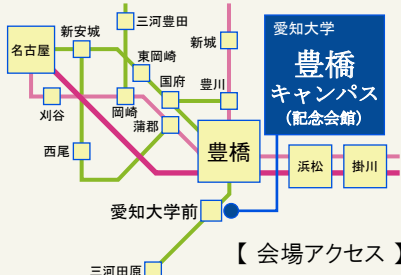


内浦 有美 (うちうら・ゆみ)

株式会社うちうら(ぼったり堂)代表取締役。愛知大学総合郷土研究所・中部産業研究所、研究員。1979年、豊橋市生。名古屋大学教育学部卒。企業勤務を経て、2007年に独立。リクルート・ワークス研究所客員研究員(キャリア教育の評価・論文上梓)や経済産業省キャリア教育事業の評価研究員等を担当後、10年に株式会社うちうらを設立。徳島県上勝町へ活動拠点を拡大、自治体や企業と協働しながら地域ビジネスや暮らしに関心のある全国の若者を地域に呼び込む事業を展開。内閣府「地域社会雇用創造事業」で株式会社いろどり、モクモク手づくりファーム等4地域連携人材育成事業のコーディネートを企画・実施。豊橋では12年に「ぼったり堂」を開堂。「豊橋妖怪・ハン祭り」実施。「豊橋妖怪百物語」(豊川堂)上梓。



【申込方法】 下記必要事項をご記入の上、メール・FAX・郵送のいずれかにて愛知大学人文社会学研究所宛てにお送りください。＜申込期限：1月22日(月)＞



豊橋鉄道渥美線「愛知大学前駅」隣接(豊橋駅より6分)会場(記念会館)は豊橋キャンパスの南端にあります。また、会場(3階)へのエレベーターはございません。

- ①お名前 ②ご年齢
- ③お住まいの市町村名
- ④ご所属(会社名、団体名)

(メール宛先) irhsa@ml.aichi-u.ac.jp (FAX宛先) 0532-47-4224
(郵送宛先) 〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1

愛知大学 人文社会学研究所
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1
Tel: 0532-47-4167 [電子メール] irhsa@ml.aichi-u.ac.jp
<http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/index.html>